



消防だより

虹のマーチ

2004.6
創刊号



川越西消防署 名細分署 (4月1日開署)



川越地区消防組合
管理者

舟橋 功一

ごあいさつ

広報紙の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。川越地区消防組合は昭和四八年に川越市と川島町が消防事務を共同で処理するために、発足いたしました。以来、災害に強いまちづくりに向けて消防・防災体制の充実、強化を図ってまいりました。また、本年四月には川越西消防署管内に名細分署を開設し管内西部地区の消防初動体制の充実・強化を図りました。本組合管内の災害も都市型に移行し、さらに複雑多様化してきております。

このような中、消防行政に対する需要は、ますます多様化、広域化の傾向にあります。なによりも、住民の皆様方一人一人の火災予防に対する日ごろの心構えが大切です。

この広報紙は、住民の皆様に消防行政をご理解いただき、より身近に感じていただくことを目的として発刊いたしました。

今後とも、各種災害から住民の生命・身体・財産を守り、安心して暮らせるまちづくりのため、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

川越地区消防組合

●ヒヤリ体験ありませんか？●

—住宅火災に気をつけよう—

平成十五年中の火災発生件数は「二五件でした。火災種別で見ると、全体の四割超が建物火災。中でも住宅火災は、建物火災の約七割を占めています。
 今まで火の取扱いの失敗からヒヤリとした体験はありませんか？「うちは大丈夫」は、火事の元。目ごころの予防が大切です。また、いざという時のために、住宅用防災機器を備えておくこと安心です。



住宅用火災警報器



住宅用消火器

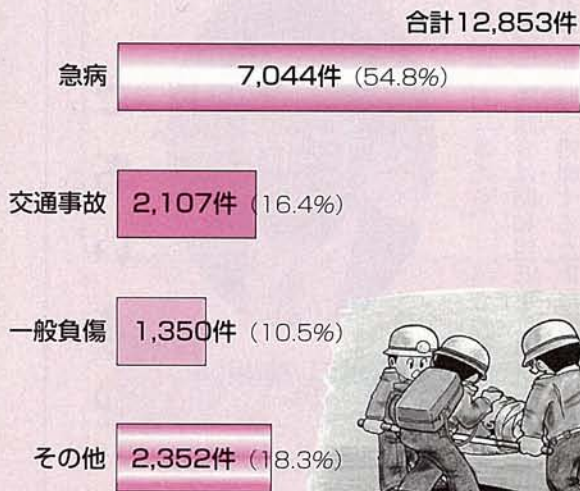


住宅防火安心マーク
住宅用防災機器等には、住宅防火安心マークがついています。

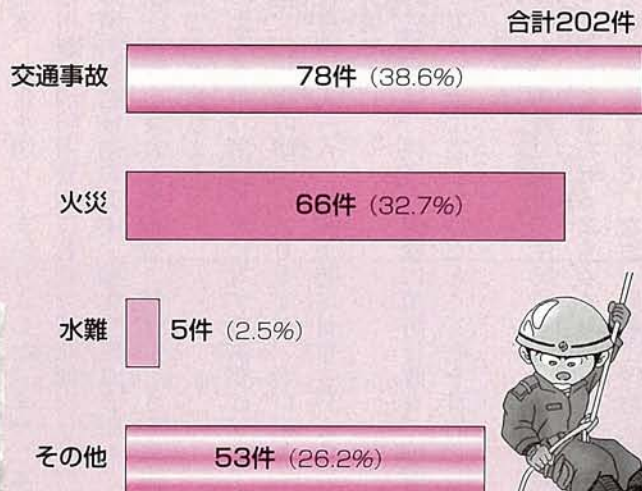
平成15年 火災種別発生件数



平成15年の救急原因別出動件数



平成15年の救助原因別出動件数

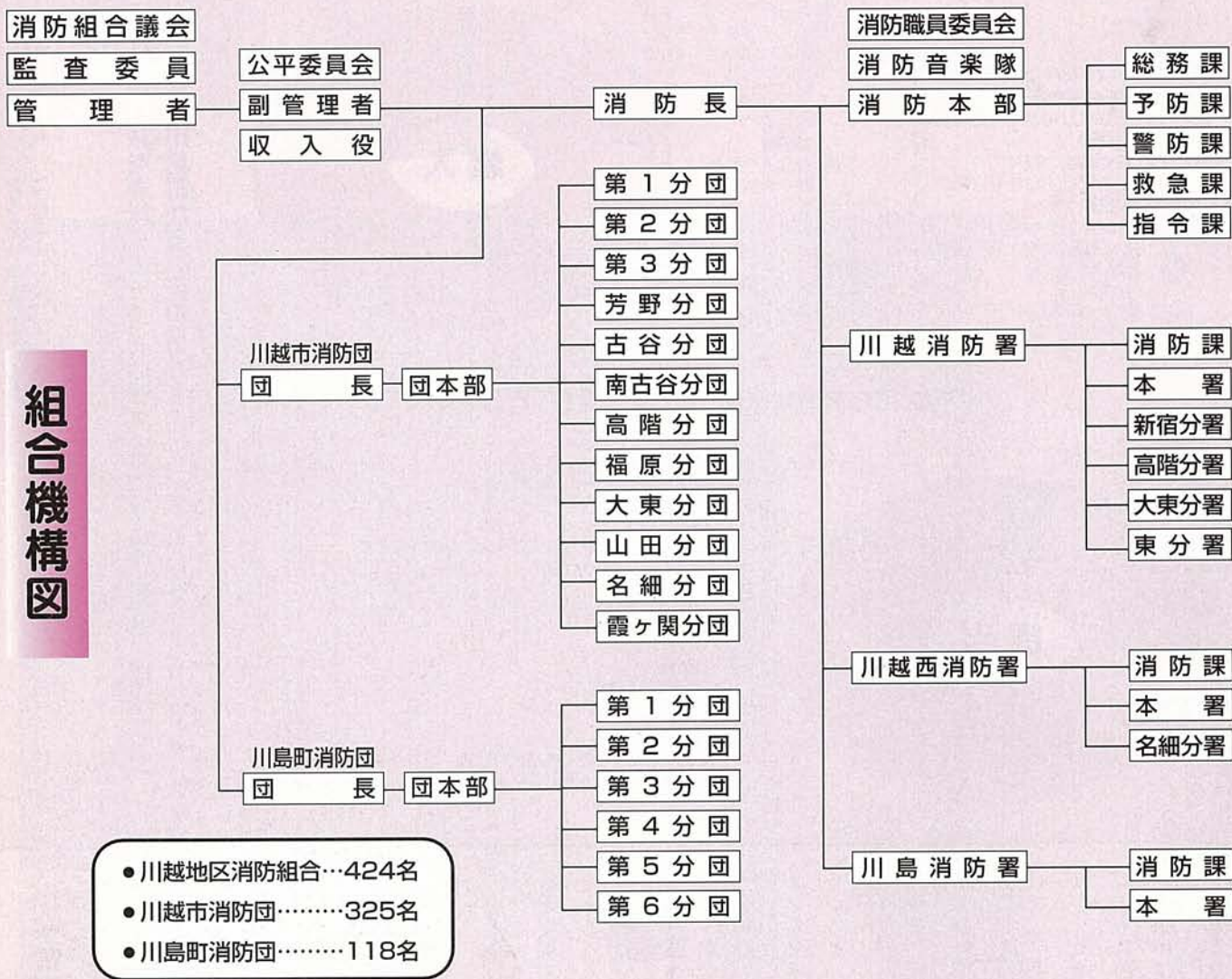


救急・救助件数

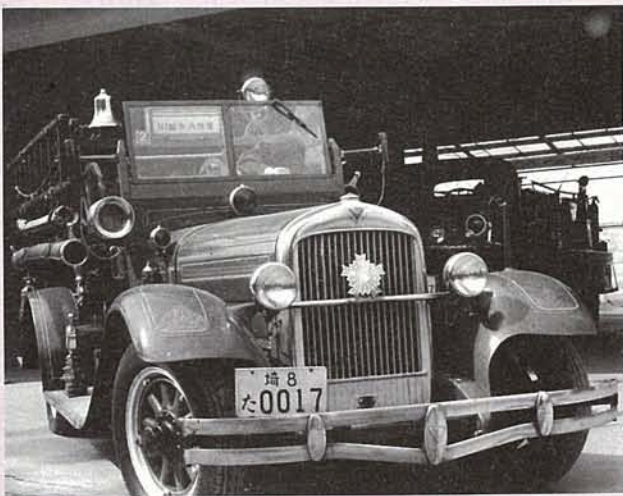
火事・救急・救助は **119** 番

「火は消した？ いつも心に きいてみて」

組合機構図



沿革



昭和48年4月…川越市と川島町で川越地区消防組合が発足。1本部・1署・3分署並びに2消防団（川越市消防団・川島町消防団）の体制で業務開始。

昭和49年4月……1本部・1署・4分署 体制となる。

昭和54年4月……1本部・1署・5分署 体制となる。

昭和61年4月……1本部・1署・6分署 体制となる。

平成3年4月……1本部・2署・5分署 体制となる。

平成5年4月……1本部・3署・4分署 体制となる。

平成13年4月……消防音楽隊発足。

平成16年4月……1本部・3署・5分署 体制となる。

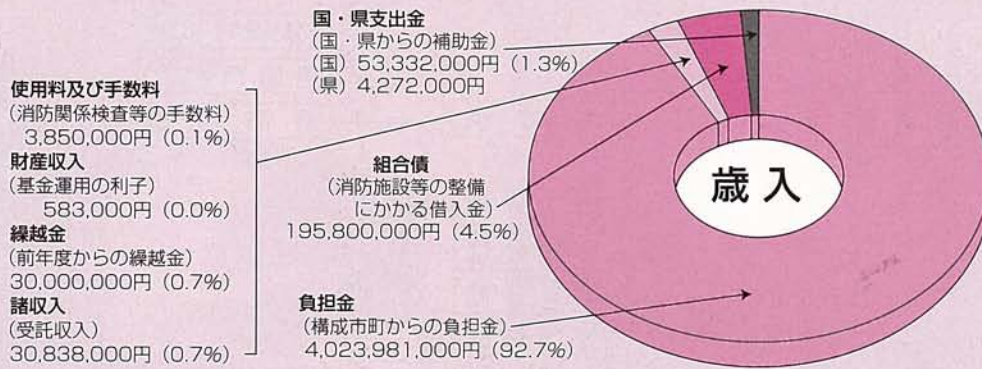
川越市消防団に女性消防団員20名入団。

「火は消した? いつも心に きいてみて」

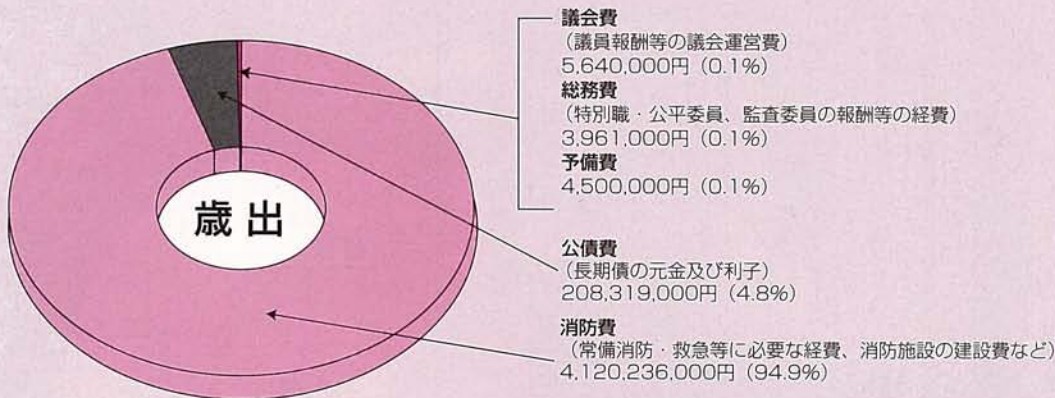
平成十六年度予算

【負担金】

消防行政を運営するうえで必要な主な財源は、組合を構成する川越市と川島町からの負担金です。



平成16年度当初予算 43億4,265万6千円



広報紙の題字「虹のマーチ」は、平成五年に川越地区消防組合設立二十周年を記念して誕生した川越地区消防組合消防歌「虹のマーチ」から付けました。

これは、歴史と伝統のある街、また、すがすがしく未来に向かってはばたく様子や消防の心意気を表したものです。

川越地区消防組合消防歌「虹のマーチ」

作詞 関根 栄一
作曲 寺島 尚彦

時代のうねりむさしの台地
広がる緑をうたいながら流れる川よ
支えあう人々のきずなが
支えあう人々のきずなが
火災と水害みんなのいのち
まちの暮らしを守りぬく
歴史の重み期待をにない
まといと木遣りの心意気をうけつぐ者よ

くいの無い青春を掲げて
くいの無い青春を掲げて
風切るサイレン 赤色灯に
雪と桜の旗はゆく
いざ いざ いざ いざ 消防ほくら 消防ほくら
いざ いざ いざ いざ 消防ほくら 消防ほくら
いざ いざ いざ いざ 筒先を 大空へ 大空へ
虹を 虹を 虹を
日ごろに鍛えた知力と科学
結ぶ組織は自治の花

消防だより

虹のマーチ

2004.6
創刊号

□発行・編集 / 川越地区消防組合 事務局総務課
〒350-0823 川越市神明町 48-4 ☎049-222-0700
<http://www.119kawagoechiku.jp/>



火事・救急・救助は 119 番